

対照言語学連続講演会

名古屋大学大学院・国際言語文化研究科・応用言語学講座

講師

塚本秀樹先生（愛媛大学教授）
沈力先生（同志社大学教授）

日時

2012年5月26日（土）
①午後2時～午後3時20分②午後3時40分～午後5時

会場

名古屋大学全学教育棟 北館406室

講演① 午後2時～3時20分

塚本秀樹先生（愛媛大学教授）

演題「日本語と朝鮮語の対照研究：
文法化と形態・統語的仕組み」

要旨：

日本語と朝鮮語が形態統語上，非常によく似た言語であることは，広く知られている事実であるが，注意深く観察すれば，両言語間で違いがあるのを様々な箇所で見出すことができる。本発表は，両言語の複合格助詞や複合動詞をはじめとする諸言語現象を取り上げて考察し，両言語間の相違を引き起こしている根本的な要因を解明するとともに，様々な箇所に現れるその相違を統一的に捉え，適切に説明できることを論証する。

講演② 午後3時40分～5時

沈力先生（同志社大学教授）

演題「日本語と中国語の対照研究：
結果構文を中心に」

要旨：

本発表では、<<ACT> CAUSE <BECOME <STATE>>>という複雑なCAUSAL CHAINが如何に表現されるのかを中心に議論を進めていく。ここでは、複雑な形態法を持つ日本語では、上記のCAUSAL CHAINが語彙レベルで表現されうるのに対し、単純な形態法を持つ中国語では、上記のCAUSAL CHAINが統語レベルで表現されなければならないことを観察する予定である。

入場無料・事前申し込み不要

連絡先：堀江 薫教授 horieling@gmail.com